

心臓リハビリテーション科

(2022年7月1日、総合リハビリテーション科より改定)



診療科長
中島 康代
(2022年9月30日まで)

専門医資格等
日本内科学会認定内科医・
総合内科専門医・指導医
日本循環器学会循環器専門医
日本リハビリテーション医学会
認定臨床医
心臓リハビリテーション
指導士
京都大学博士 (医学)

専門分野
循環器内科
心臓リハビリテーション



診療科長
(心臓リハビリテーション科)
井口 守丈
(2023年4月1日から)
※2022年7月1日から2023年3月31日まで
心臓リハビリテーション科医長

専門医資格等
日本循環器学会認定循環器
専門医
日本内科学会認定内科医・
総合内科専門医・指導医
日本超音波医学会超音波
専門医 (心臓)
京都大学博士 (医学)
心臓リハビリテーション
指導士
日本心不全学会
日本心臓リハビリテーション学会
日本心エコー図学会
SCCT研究会
アメリカ心臓協会 (AHA)
ヨーロッパ心臓病学会 (ESC)

専門分野
循環器領域の画像診断

得意疾患
心不全

| スタッフ |

	氏名	専門資格等
主任理学療法士	福井 教之	心臓リハビリテーション指導士
理学療法士	奥脇 基	
2-7病棟看護師	上田 美穂	
2-7病棟看護師	嶋田 紫帆	
2-7病棟看護師	星野 幸葵	
2-7病棟看護師	萩原亜沙美	
2-7病棟看護師	樺田 敦子	
2-7病棟看護師	山口 真季	
2-7病棟看護師	細見 真子	
2-7病棟看護師	富井 朱理	

令和4年度の主な取組

心不全に代表される心疾患は増悪を繰り返し、その度ごとに身体機能が低下していきます。心臓リハビリテーションでは多職種チームによる運動療法・患者指導を中心とした包括的なプログラムにより、心疾患患者の身体機能・疾病管理を向上し、再発の予防・予後の改善・QOLの改善を目指しています。

急増する高齢の心疾患患者でも心臓リハビリが継続できるようチーム全体でメニューを工夫して行っています。

今年度の取り組み

1. 外来心臓リハビリテーション、心肺運動負荷試験（CPX）の再開

心臓リハビリテーションは継続が最も重要です。コロナにより休止していた外来心臓リハビリテーションを再開しました。退院後5か月をめぐり、週1回、準備体操・有酸素運動・クールダウンなどの約1時間のメニューを行っています。現在、火・金の二枠ですが、徐々に参加人数を増やしています。また、運動耐容能や負荷量の正確な評価のための心肺運動負荷試験（CPX）も再開しました。

2. 集中治療における早期離床の取り組み

救命センター・集中治療室での早期離床を促すため、心臓外科術後や緊急入院患者に対して、チーム全体で介入を行っています。

3. 高齢心不全患者のHAD（Hospital associated disability）予防の取り組み

心不全パンデミックとなり急増する高齢心不全患者に対しても、入院中の機能低下を予防するため、早期離床を促し、テラスエルゴを用いた低強度の有酸素運動やレジスタンストレーニングを積極的に取り入れています。

診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心大血管疾患リハビリ新規患者数（心筋梗塞、狭心症、開心術後、心不全を含む）	49	46	39	29	31	33	50	39	46	59	50	55	526
心大血管疾患リハビリ新規慢性心不全患者数	10	2	7	10	12	9	17	14	27	21	17	21	167
心大血管疾患リハビリテーション実施件数（算定件数のみ）	517	423	428	359	306	258	398	423	393	468	509	506	4988
総単位数	937	867	885	773	627	555	827	956	803	971	1068	1150	10419
外来心臓リハビリ実施件数	0	0	0	0	0	0	0	1	6	16	27	26	76